

とっとり 緑推だより

NO.32

2013.12発行

公益社団法人 鳥取県緑化推進委員会

〒680-8570 鳥取市東町1丁目220番地鳥取県農林水産部森林・林業振興局内

TEL 0857-26-7416 FAX 0857-26-8192

E-mail:info@tottori-green.or.jp URL:<http://www.tottori-green.or.jp>

■会員の現況平成25年1月4日現在 ●正会員 110名 ●賛助会員 75名 ●特別会員 1名

理事長就任の挨拶

鳥取県議会議長 野田 修



平成25年10月18日開催の臨時総会及び理事会において選任をいただき、本委員会の理事長に就任いたしましたので一言ご挨拶させていただきます。

皆様方には、日頃から本県の緑化推進や緑の募金活動にご協力いただき、厚くお礼申し上げます。

本委員会は、戦後の荒廃した山に「緑の募金」を通して緑を取り戻そうとして昭和25年に創設され、今まで県民の皆様のご協力をいただきながら、緑の募金事業を継続して参りました。また、今年1月からは、鳥取県知事の認定を受け公益社団法人に移行し、更なる緑化活動の強化を図っているところでございます。

森林は、水源のかん養、二酸化炭素の削減による温暖化の防止や空気の浄化、減災による国土の保全活動など、県民生活に欠かせない公益的機能を有しております、適正な森林整備の重要性が認識されているところでございます。

しかしながら、木材価格の低迷、林家の高齢化等により、手入れの遅れた森林が増加する一方で、地球温暖化により各地で集中豪雨による洪水の発生、森林の土砂災害が多発し、森林の持つ公益的機能発揮のための早急な対策が求められています。

森林からの恩恵は、県民全体が享受するものであり、県民みんなで森林を守り育てていくことが大切です。そのためには、県産材の積極的な活用や森林ボランティア活動を支援、未来の森づくりリーダーとなる「みどりの少年団」の育成など継続的な取り組みが必要です。

本年は、5月に南部町を主会場とした「第64回全国植樹祭」の開催、9月から11月にかけて鳥取市湖山池公園を主会場にした「第30回全国都市緑化とっとりフェア」の開催など正に鳥取県が発信した「とっとりグリーンウエイブ」が全国に広まりつつあります。

県民の皆様には、様々な機会を通じて緑化に対する理解を深めていただきますとともに、緑の募金をはじめ各種の緑化推進事業を実施しております本委員会へのご支援ご協力を賜りますようよろしくお願ひします。

■平成25年度 緑の募金

募金運動期間 春期 平成25年3月25日（月）～ 5月31日（金）
秋期 平成25年9月 1日（日）～10月31日（木）

皆様の温かいご協力、ありがとうございました。

「緑の募金」は森林の整備や緑化活動を支援し、きれいな水環境、災害の防止、きれいな空気、温暖化の防止など環境改善に役立っています。

森や緑を育てて、安全で住みよい故郷をつくるため、一人でも多くの方に「緑の募金」への温かいご協力をお願いします。

平成25年度春期緑の募金の結果

今年度の緑の募金運動は、イオン鳥取北店とイオン日吉津ショッピングセンターでの街頭募金でスタートしました。イオン鳥取北店では、鳥取市立賀露小学校みどりの少年団、日吉津ショッピングセンターでは、日吉津村立日吉津小学校みどりの少年団のみなさんに協力ををしていただき、朝10時より街頭募金を始めました。子ども達の元気な呼びかけに多くの方に募金をしていただきました。また、家庭募金、職場募金、企業募金にもご協力をいただきありがとうございました。



平成25年度春期募金結果は、街頭募金45万円、学校募金108万円、
家庭募金1,620万円、企業募金16万円、
職場募金256万円、その他募金58万円、
合計2,103万円

となり、対前年比の99.4%の実績を上げることが出来ました。

頂きました浄財は外部有識者による「緑の募金等運営協議会」で審査等を経た上で、緑化事業の推進に大切に使わせていただき、皆様方の居住環境の改善等に役立たせていただきます。

ご協力いただいた県民の皆様、関係者の皆様に厚くお礼申し上げます。



街頭募金



緑の募金等運営協議会

■第64回全国植樹祭が鳥取県で開催されました

「感じよう 森のめぐみと 緑の豊かさ」

平成25年5月26日（日）、晴れ渡った空の下、天皇・皇后両陛下のご臨席を仰ぎ、鳥取県西伯郡南部町「とつとり花回廊」を主会場として、第64回全国植樹祭が開催されました。「感じよう 森のめぐみと 緑の豊かさ」を大会テーマとして、全国各地の林業関係者や地元関係者約5,000人が参加して盛大に開催されました。

大会テーマを表現した音楽やダンス、子どもと木の精との語らいで人間と木との共生を表現した創作劇「大山神話（だいせんしんわ）」のあと、天皇・皇后両陛下がご到着され、式典が始まりました。

開会の言葉に続き三旗掲揚、国歌斉唱、主催者挨拶、表彰等が行われ、東日本大震災で被災された東北3県の代表者に、3県で採取された種を県内の小学生が育て、復興に役立てていただく苗木の目録の贈呈式の後、天皇・皇后両陛下によるお手植え及びお手書きが行われました。

その後、参加者代表記念植樹や開催テーマ表現（アトラクション）、東日本大震災復興支援、大会宣言と続き、リレーセレモニーでは平井知事より、次回開催県の新潟県泉田知事に植樹祭シンボルの「木製地球儀」が渡され式典が終了しました。緑の少年団の皆さんも大活躍の1日でした。

式典会場内には、招待者の皆さんに楽しんでいただく「おもてなし広場」が設置され、緑の募金活動を行いました。いただいた募金は公益財団法人国土緑化推進機構の「東日本大震災復興支援に向けた『緑の募金』」用途限定募金へ寄贈しました。

第64回全国植樹祭を契機に盛り上がった県民意識に応えるため、当委員会としても緑化運動や緑の少年団の取り組みなどを引き続き支援していきたいと思います。



■緑の募金贈呈式

6月7日 県議会議長室で「緑の募金贈呈式」が行われました。千代三洋工業株式会社様（贈呈者：山田哲代表取締役社長、山下清江社員代表 随行：山本義弘総合企画部長）では、社内で積極的に職場募金を呼びかけ、集まった淨財を「緑の募金」として、この度当委員会伊藤美都夫理事長（県議会議長）（当時）にご寄付を頂いたものです。ありがとうございました。



山下清江社員代表より伊藤美都夫理事長へ、
(中央) 山田哲代表取締役社長



左より野村様、西山副理事長、井上会長、下田様、谷尾様

7月26日 県議会議長室で「緑の募金贈呈式」が行われました。鳥取県東部地域でレジ袋無料配布中止運動を実施しているイオンリテール中四国カンパニー様（贈呈者：松木イオン鳥取店店長）では、鳥取県東部3店舗のレジ袋運動収益金を「緑の募金」として、この度当委員会伊藤美都夫理事長（県議会議長）（当時）にご寄付を頂いたものです。また、株式会社戸信様より同じくレジ袋運動収益金をご寄付いただきました。ありがとうございました。



松木イオン鳥取店店長より伊藤美都夫理事長へ



株式会社イブキ小谷営業課長より

8月26日 株式会社イブキ社長伊吹直様より当委員会岡村事務局長へ緑の募金を贈呈していただきました。イブキブランド鶏卵パックのラベルに「緑の募金」ロゴマークを付け、その売り上げの一部を「緑の募金」として寄付されたものです。ありがとうございました。

■みどりの少年団交流集会



8月8日～9日の1泊2日で、大山町の県立大山青年の家において、鳥取市立神戸小、倉吉市立北谷小、湯梨浜町立羽合小、琴浦町立八橋小、米子市立淀江小、箕蚊屋小、車尾小、大山町立大山小の8小学校のみどりの少年団総勢55名の参加で実施しました。

2日間とも天候に恵まれ、大山青年の家の指導員の先生や引率の先生など多くの方々のご協力をいただき、予定していた日程をすべて滞りなく実施することができました。少年団のみんなも元気に活動し、交流を深めることができたと思います。

1日目 カヌー

キャンドルサービス

2日目 下草刈り

クラフト

「みどりの少年団交流集会」は、子どもたちが森林の中での活動や相互交流を通し、緑を守る大切さや健全な育成を目的として、毎年実施しております。



(子ども達の感想です。)

☆カヌーでは、ずっと怖いと言っていたけど、やっているうちに楽しくなって、どんどんやりたいと思いました。

☆キャンドルサービスは、いろいろな学校の校歌が聴けてよかったです。

☆下草刈りは、木が元気に育つことを願って、作業を頑張りました。森林のために頑張ってくれる林業の人には感謝しています。

☆どんどん終わりが近づいて来て、みんなと別れるのがさみしくなってきました。

☆仲よしの友達ができてうれしかったです。でも、もしかしたら会うことができないかもしれない、大切な思い出にしたいと思いました。



■平成25年度第1回臨時総会の開催

とき 平成25年10月18日（金）
ところ 白兎会館「飛翔の間」



平成25年度第1回臨時総会を、正会員104名のうち80名（出席28名、委任状52名）の参加を得て開催しました。開会に先立ち、西山前副理事長（鳥取県農林水産部長）の挨拶があり、議長に智頭町森林組合代表理事組合長の寺坂安雄さんを選出し、議事録署名人に団体会員で鳥取日野森林組合代表理事組合長大江國夫さん、個人会員の山本紀彦さんを選任し、議事に入りました。

第1号議案「役員（理事）の補欠選任について」事務局より案が提出され、質疑等のあと1号議案は議案のとおり承認されました。続いて、第2号議案「常勤理事の報酬等の額について」事務局より案が提出され、質疑等のあと2号議案は議案のとおり承認されました。

その後、別室において臨時理事会が開催され、理事長、副理事長及び常務理事が選定され、野田新理事長のあいさつで臨時総会は閉会しました。総会会場では、鳥取県より森林・山村多面的機能発揮対策についての説明が行われており、質疑応答の後、臨時総会を再開しました。報告事項として、森林・山村多面的機能発揮対策の実施について及び平成25年度春期の募金状況について報告をしました。

その後、森下副理事長から臨時理事会の協議結果として、理事長、副理事長及び常務理事の選定の報告が行われ、野田新理事長のあいさつで臨時総会は閉会しました。



役員の皆様（平成25年10月18日現在）

役員	氏名	所属役職名	役員	氏名	所属役職名
理事長	野田 修	鳥取県議会議長	理事	本城 浩	日本海テレビジョン放送株執行役員編成営業局長
副理事長	嶋沢 和幸	鳥取県農林水産部森林・林業振興局長	理事	中村 力男	鳥取県建設業協会常務理事
副理事長	森下 洋一	鳥取県森林組合連合会会長	理事	藤原 真澄	鳥取県山林樹苗協同組合理事長
理事	田中 朝子	鳥取県連合婦人会会长	理事	森原 昌人	(株)新日本海新聞社執行役員総務局長
理事	浜橋 正教	鳥取県市長会事務局長	理事	前田八壽彦	鳥取県木材協同組合連合会会長
理事	山本 義紀	鳥取県町村会若桜町副町長	常務理事	岡村 通孝	鳥取県緑化推進委員会事務局長
理事	蔵増 保則	鳥取県農業協同組合中央会専務理事	監事	田中 静雄	鳥取県造園建設業協会会長
			監事	大家 繁博	鳥取県椎茸生産組合連合会会長

■非常勤職員挨拶

非常勤職員として8月よりお世話になることになりました浦濱道子です。

慣れないことばかりですが、精一杯努めていこうと思っています。

どうぞ、よろしくお願いします。



会員募集のお願い

公益社団法人鳥取県緑化推進委員会は、県民の皆様による「緑の募金」等を財源として、森林の整備や緑化の推進を通じて、緑豊かな住みよい県土の発展及び国際緑化に寄与することを目的として設立された団体です。

本委員会の組織運営は、正会員（県、市町村、団体、個人）及び賛助会員（企業）の皆様からの会費を主要な財源としており、県民の皆様のご理解・御協力の上に成り立っています。

趣旨にご賛同いただける皆様のご加入を心よりお願い申し上げます。

会員年会費：個人・団体・企業 一口 1万円

お問い合わせ先

〒680-8570 鳥取市東町一丁目220
(鳥取県農林水産部森林・林業振興局内)
(公社)鳥取県緑化推進委員会
電話：0857-26-7416
FAX：0857-26-8192
URL：<http://www.tottori-green.or.jp>

